

本学所蔵の貴重書が新聞各紙に取り上げられました。

本学図書館はイエズス会宣教師ルイス・ピニェイロの書いた『新日本史』（1618年）の写真朝日新聞社と西日本新聞社に提供しました。

今回の提供は、天草キリシタン研究会が長年にわたって議論してきた「天草コレジオ」の所在場所を決定づける文章が書かれていることから、両新聞社がそれを報道し、本書を写真掲載するために協力したものです。このコレジオとはキリシタン宣教師を養成する高等教育施設で、この写真提供によって天草地方の歴史研究に関わる大きな発見の一端を担いました。

なお、両社の記事は図書館ホームページのコンテンツ「新聞と雑誌にみる本学図書館」よりご覧いただけます。

NPO法人向日庵の文化芸術創造拠点事業への連携・協力を行います。

NPO法人向日庵から、京都府向日市が文化庁より採択され、同法人が事業委託を受けている「令和2年度文化芸術創造拠点形成事業」への連携と協力の依頼がありました。



NPO法人向日庵は、故寿岳文章氏とその家族が生活と文化活動の拠点とした向日市の住居「向日庵」を、世界に誇るべき我が国の伝統文化である“和紙文化研究の聖地”と位置づけ、後世に伝えようとする活動を行っている団体です。

今回の申し出は、本学図書館が日本の代表的な和紙文化遺産である「ちりめん本」のコレクションを数多く所蔵し、展示会やホームページを通じて国内外に発信していることから、依頼があったものです。6月26日には向日庵副理事長の井上琢智氏が本学を訪問され、同団体の活動について、説明をされました。

故木村汎先生の旧蔵書の寄贈を受けました。

本学図書館はこのほど、ロシア研究の権威で政治学者であった故木村汎先生の旧蔵書の寄贈を受けました。



この蔵書は、ロシア語図書1,151冊など図書が約5,800冊、雑誌が日本語、英語、ロシア語の約120種で、前回平成30（2018）年にご寄贈いただいた分と合わせると図書が約9,300冊、雑誌が約530種となりました。

これらの資料は、今後図書館システムに書誌データを登録し、装丁を施す作業に入ります。